

平成16年3月期 第3四半期業績の概況(非連結)

平成16年2月9日

上場会社名 **ダイコク電機株式会社**

(コード番号: 6430 東証・名証第二部)

(URL <http://www.daikoku.co.jp>)

代表者 代表取締役社長

小山 晴久

問合せ先責任者 取締役総務センタ長

伊藤 茂年

TEL (052) 581-7111

1. 四半期損益計算書等の作成等に係る事項

財務諸表等の作成に際して準拠した基準 :(中間財務諸表規則)

・会計処理方法の変更の有無 : 無

・中間決算等と異なる会計処理の有無 : 無

公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2. 平成16年3月期第3四半期の業績概況(平成15年4月1日~平成15年12月31日)

(1)経営成績(単体)の進捗状況

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第3四半期(9ヶ月累計)	28,033	13.6	3,851	33.5	4,190	28.9
15年3月期第3四半期(9ヶ月累計)	32,431		5,788		5,891	
(参考)15年3月期	40,281		5,468		5,715	

	当期(四半期)純利益		1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
16年3月期第3四半期(9ヶ月累計)	2,495	22.1	168	78	-	-
15年3月期第3四半期(9ヶ月累計)	3,202		242	75	-	-
(参考)15年3月期	2,981		200	74	-	-

(注) 期中平均株式数 16年3月期第3四半期 14,783,900株 15年3月期第3四半期 13,191,173株  
売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同期増減率を表示しております。

[経営成績(単体)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における我が国経済は、企業の設備投資や株式市況の持ち直しは見られるものの、個人消費の低迷が続き、依然として厳しい状況下にあります。

当社が関わるパチンコ業界におきましては、パチスロ遊技機において射幸性が高く問題となった爆裂機の入替撤去にともなう遊技機投資負担の増加により、ホール経営環境は厳しい状況が続いておりますが、競争力のある企業においては、新規出店や既存店舗の改装等による大型店舗展開が活発化しております。

そのような状況下、当社の第3四半期業績は、累計で売上高280億33百万円(前年同期比13.6%減)、営業利益38億51百万円(前年同期比33.5%減)、経常利益41億90百万円(前年同期比28.9%減)、当期純利益24億95百万円(前年同期比22.1%減)となりました。

事業部門別の業績は次の通りであります。

情報システム事業では、戦略情報システムDK-SISの遊技台分析機能をさらに強化することにより製品付加価値を高め、ホール経営戦略セミナーを全国のホール経営者を対象に実施し、新たな提案による需要の喚起を行いました。また、パチンコファンを対象とした携帯電話公式サイト「パチンコNOW」の会員数は、情報提供サービスのコンテンツ強化をはかることにより増加し続けております。以上のことも寄与し、ホールコンピューティングシステム「C」の評価につながり、売上高累計は173億65百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

制御システム事業では、部品売上は順調に推移しておりますが、大ヒット機種に恵まれた前年同期に比べると、表示ユニット、制御ユニットともに売上が減少し、売上高累計は、106億67百万円(前年同期比31.2%

減)となりました。当事業部門では、開発力強化および開発スピード向上のため新設した東京の表参道デザインスタジオのさらなる体制強化をはかっております。

## (2)財政状態(単体)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
16年3月期第3四半期(9ヶ月累計)	41,947	20,299	48.4	1,373	9
15年3月期第3四半期(9ヶ月累計)	47,743	18,900	39.6	1,278	43
15年3月期	42,315	18,677	44.1	1,246	17
(注) 期末発行済株式数	16年3月期第3四半期	14,783,900株	15年3月期第3四半期	14,783,900株	
期末自己株式数	16年3月期第3四半期	-株	15年3月期第3四半期	-株	

### [財政状態(単体)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の財政状態は、総資産については、営業債権等の増加により流動資産が4億64百万円増加しましたが、減価償却費等の計上により固定資産が8億32百万円減少したため、前期末と比較して3億68百万円減少し419億47百万円となりました。

株主資本については、第3四半期現在の当期純利益が24億95百万円ありますが、配当金および役員賞与金の利益処分が8億73百万円あったため、前期末と比較して16億22百万円増加し202億99百万円となりました。

## 3.平成16年3月期の業績予想(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
通 期	38,000	4,415	2,357	30	00

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 159円43銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては下記をご参照下さい。

### [業績予想(単体)に関する定性的情報等]

通期の業績予想は、前回の予想通りとし変更いたしておりません。

例年通り1月、2月は情報システム事業の売上が低くなり、研究開発費等の販管費が第4四半期に増加すると見込んでおります。

### 【通期の見通しに関する注意事項】

本資料中に記載されている市場予測や業績見通しは、当社の経営陣が現在有効な情報に基づき判断したもので、その実現には潜在的风险や不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。従いまして、諸要因の変化により実際の業績は記載事項と大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご承知おきください。

添付資料

第3四半期の販売実績

事業部門別		期別		16年3月期第3四半期 (15.4.1～15.12.31)		15年3月期第3四半期 (14.4.1～14.12.31)		対前年同期 増減率
		売上高	構成比	売上高	構成比			
製品	(情報システム事業)	百万円	%	百万円	%	%		
	ホールコンピュータ	5,536	19.7	4,920	15.2	12.5		
	景品顧客管理システム	2,995	10.7	2,984	9.2	0.4		
	情報公開システム	4,233	15.1	4,251	13.1	0.4		
	その他	475	1.7	596	1.8	20.3		
商品	消耗品等	226	0.8	233	0.7	3.0		
工事収入等		3,900	13.9	3,944	12.2	1.1		
小計		17,365	61.9	16,928	52.2	2.6		
製品	(制御システム事業)							
	表示ユニット	4,516	16.1	8,319	25.7	45.7		
	制御ユニット	1,855	6.6	3,162	9.7	41.3		
	その他	261	0.9	346	1.1	24.6		
商品	部品	4,035	14.4	3,675	11.3	9.8		
小計		10,667	38.1	15,502	47.8	31.2		
合計		28,033	100.0	32,431	100.0	13.6		